

延慶元年（一三〇八）一二月、興福寺公文所が平群郡刀禰等に藤二郎男殺害人の交名の注進を命じる。

73 興福寺公文所下文案

東寺百合文書『鎌倉遺文補遺編・東寺文書』二一五九六

賢與 正舜
使權專当相縁 定実

朝賢

仕丁清行
安行

（興福寺）
公文所下 平群郡刀禰司并平野・四手原郷民等

可早任下知旨、注進交名、藤二郎男殺害人事、

右、去月廿二日於当郷内、令殺害藤二郎畢、悪行之至、罪科難遁者、早云根本、云與力、任美正、可令注進言上彼交名之状、依 政所仰、下知如件、以下、

延慶元年十二月四日

知事法師

權專当法師

都維那法師在判

大知事法師

延慶二年（一三〇九）九月、僧法円が生馬荘内の田地を売却する。

延慶二年（一三〇九）五月、興福寺公文所が添下・平群郡刀禰等に宇陀郡比布住人後平二の大和国外への追放を命じる。

74 興福寺公文所下文案

東寺百合文書『鎌倉遺文補遺編・東寺文書』二一六〇六

慶兼
使權專当相縁

□與

仕丁国正

（興福寺）
添下・平群郡刀禰司并郷々庄々諸寺諸山等

不可早任下知旨、入居其身宇陀郡比布住人後平次男事、

右、彼後平次男重々不当之間、依学侶評定、所被下知也者、早不可入居其團於当国之状、依 政所仰、下知如件、以下、

延慶二年五月十八日

知事法師

權專当法師

都維那法師在判

大知事法師

75 僧法円田地売券

東寺百合文書『鎌倉遺文』三一―三三七六〇

（端裏書）
「イケハラノカイフミ」

沽却 売買新立券文事

合寺所者但六十步者

在大和国平群郡生馬御庄行清名内池原边

四至本券文面在之、

右、件田地元者、僧法円相伝私領也、而今依有直要用、能米式斛五斗充、限永年作手、本公驗相具、僧覺満売渡所明白也、更不可有他